

首都高速道路の大規模更新・修繕及び機能強化に関する技術検討委員会(第7回)

議事要旨

日時: 2023年11月2日(木) 10:00~11:00

場所: 高速1号羽田線 羽田トンネル

出席: 委員長 前川 宏一(横浜国立大学総合学術高等研究院 客員教授)
委員 石田 哲也(東京大学大学院工学系研究科 副研究科長 教授)
小根山 裕之(東京都立大学大学院都市環境科学研究科 教授)
白戸 真大(国土交通省 国土技術政策総合研究所 室長)
村越 潤(東京都立大学大学院都市環境科学研究科 教授)

(砂金 伸治(東京都立大学大学院都市環境科学研究科 教授)、
逢坂 謙志(日本高速道路保有・債務返済機構 理事)は所用のため欠席)

議事:

1. 羽田トンネル 現場視察(高架橋計画部)

(主な意見)

- ・ 通常修繕により繰り返し補修している箇所もまとめて抜本的な対策を行い、長期耐久性の向上を図ることは、更新事業のメリットである。
- ・ 上り線高架橋への交通運用切り替え後、将来の車線運用上不要となる旧構造物について、上り線高架部で非常事態が発生した際の切り回し箇所として活用することができるのではないか。
- ・ 羽田トンネルは海に近く耐久性が求められる環境であるため、耐食性の高い材料など積極的かつ慎重に採用することを検討するべきではないか。
- ・ 工事中のう回路となる上り線高架橋の運用については、交通影響の最小化に努めた施工計画とすべきではないか。
- ・ 地盤条件は構造物全体にかかわるものであり、コストにも影響するため詳細に調査するべきではないか。
- ・ 既設の構造物を活用できるか否かの判断は、現在の構造物の状況をしっかり調査し性能を評価することが必要ではないか。

以上